# 平成 27 年度　市邨学園　事業報告書

（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

学校法人　市邨学園

# １　法人の概要

## (1) 学校法人名，代表者名及び法人の所在地

学校法人名

学校法人　市邨学園

代表者名

理事長　末岡　熙章

法人の所在地

愛知県名古屋市瑞穂区高田町三丁目 28 番地の 1

（注）理事長末岡熙章は、平成 28 年 3 月 31 日をもって、任期満了退任。後任として、末岡仁が、平成 28 年 4 月 1 日就任。

## (2) 役員・評議員の状況（平成 28 年 3 月末日現在）

| | 定数 | 現員 | 欠員 |
|---|---|---|---|
| 理事 | 10 | 10 | 0 |
| 監事 | 2 | 2 | 0 |
| 評議員 | 29 | 29 | 0 |

（注１）理事には，理事長 1 名を含む。

## (3) 建学の精神

学校法人市邨学園は，創立者市邨芳樹の建学の精神である「一に人物，二に伎倆」のもと，「慈・忠・忍」を校訓三則と定め，人物教育を展開し，社会的・時代的要請に応えうる人材の育成を目的とする。

## (4)　法人の沿革

（平成28年3月末日現在）

明治40年4月　名古屋女子商業学校開校
大正12年4月　名古屋第二女子商業学校開校
昭和16年1月　創立者市邨芳樹逝去
昭和20年4月　財団法人市邨学園設立
昭和22年4月　呉竹中学校，若竹中学校開校（学制改革による）
昭和23年4月　呉竹商業高等学校，若竹商業高等学校開校（学制改革による）
昭和23年10月　各校校名変更
　呉竹商業高等学校　→　名古屋女子商業高等学校
　若竹商業高等学校　→　高蔵女子商業高等学校
　呉竹中学校　→　名古屋女商中学校
　若竹中学校　→　高蔵中学校
昭和26年3月　財団法人市邨学園，学校法人市邨学園に組織変更
昭和40年4月　市邨学園短期大学開学（商経科・家政科）
　名古屋女子商業高等学校，高蔵女子商業高等学校に普通科課程設置
昭和42年4月　短大保育科設置
昭和43年4月　市邨学園短期大学附属幼稚園開園
昭和47年4月　各校校名変更
　名古屋女子商業高等学校　→　市邨学園高等学校
　高蔵女子商業高等学校　→　市邨学園高蔵高等学校
　名古屋女商中学校　→　市邨学園中学校
　高蔵中学校　→　市邨学園高蔵中学校
昭和54年4月　市邨学園大学開学（経済学部消費経済学科）
昭和58年4月　校名変更
　市邨学園大学　→　名古屋経済大学
　大学の男女共学化実施
　大学経済学部経営学科設置
昭和61年4月　各校校名変更
　市邨学園高蔵高等学校　→　高蔵高等学校
　市邨学園高蔵中学校　→　高蔵中学校
昭和63年4月　短大英語科設置
平成2年4月　学科名称変更
　家政科　→　生活文化学科
平成3年4月　大学法学部企業法学科設置
平成11年4月　大学法学部国際関係法学科設置
平成12年4月　名古屋経済大学大学院（法学研究科法学専攻修士課程・企業法学専攻博士後期課程）開設
平成14年4月　各校校名変更
　市邨学園短期大学　→　名古屋経済大学短期大学部
　市邨学園高等学校　→　名古屋経済大学市邨高等学校
　高蔵高等学校　→　名古屋経済大学高蔵高等学校
　市邨学園中学校　→　名古屋経済大学市邨中学校
　高蔵中学校　→　名古屋経済大学高蔵中学校
　市邨学園短期大学附属幼稚園　→　市邨学園幼稚園
　短大以下中学校まで各校にて男女共学化実施
　大学院会計学研究科会計学専攻修士課程設置
　大学経営学部経営学科設置
　短大現代コミュニケーション学科設置
　学科名称変更
　経済学部消費経済学科　→　経済学部現代経済学科
　学生等募集停止
　大学経済学部経営学科
　短大英語科
　市邨高校商業科
平成15年3月　学部等廃止
　短大英語科
平成15年4月　大学法学部法学科設置

| | |
|---|---|
| | 学生等募集停止 |
| | 大学法学部企業法学科，国際関係法学科 |
| 平成17年4月 | 園名変更 |
| | 市邨学園幼稚園　→　名古屋経済大学附属市邨幼稚園 |
| | 大学人間生活科学部（幼児保育学科・管理栄養学科）設置 |
| | 短大キャリアデザイン学科設置 |
| | 学生等募集停止 |
| | 短大商経科，生活文化学科，現代コミュニケーション学科 |
| 平成18年3月 | 学部等廃止 |
| | 短大商経科，現代コミュニケーション学科 |
| 平成18年4月 | 市邨学園創立100周年 |
| 平成18年7月 | 高蔵校横田校地，六野校地から，高田新校地に移転 |
| 平成19年3月 | 学部等廃止 |
| | 短大生活文化学科 |
| 平成19年4月 | 人間生活科学研究科（幼児保育学専攻・栄養管理学専攻）設置 |
| | 会計学研究科会計学専攻課程変更（博士後期課程設置） |
| 平成19年7月 | 学部等廃止 |
| | 大学法学部企業法学科 |
| 平成19年12月 | 学部等廃止 |
| | 大学法学部国際関係法学科 |
| 平成20年2月 | 学部等廃止 |
| | 大学経済学部経営学科 |
| 平成20年4月 | 学科名称変更 |
| | 大学人間生活科学部幼児保育学科　→　人間生活科学部教育保育学科 |
| 平成23年4月 | 学科名称変更 |
| | 大学法学部法学科　→　法学部ビジネス法学科 |
| 平成27年3月 | 学部等廃止 |
| | 短大キャリアデザイン学科 |

## ２　事業の概要

## (1) 当該年度の法人の主な事業の概要

平成 27 年度学校法人市邨学園の事業の詳細は次のとおりである。

法人の管理運営等に係る主な事項は，次のとおりである。

・理事会・評議員会については，理事会は，定例 7 回の計 7 回開催，評議員会は，定例 2 回，臨時 4 回の計 6 回開催した。

・役員，評議員の選任・委嘱

理事・評議員の新任・退任は次のとおりである。

| 年月日 | 理事･監事･評議委員の異動 |
|---|---|
| 平成27年4月1日 | 理事1名新任 評議員1名新任 |
| 平成27年5月26日 | 評議員1名退任 |
| 平成27年5月27日 | 評議員1名新任 |
| 平成28年3月31日 | 理事長退任 常務理事1名退任 理事1名退任 評議員1名退任 |

※　平成 28 年 3 月 31 日付退任者については，平成 28 年 3 月 22 日理事会にて後任を補充。

・寄附金募集の促進については，引き続き個人からの寄附金に係る所得税の税額控除の対象法人であること，又，引き続き学校法人の特定公益増進法人であることを広報し寄附金募集を進めており，平成 27 年度中の市邨学園教育研究充実寄附金の募集状況は，別表 I のとおりである。

・設置各校において引き続き省エネルギーの推進を行った結果，平成 27 年度の法人全体のエネルギー使用量が，原油換算で 1,233kl となった。（前年度比約 96%）

法人の施設設備整備に係る主な事項は，次のとおりである。

・大学・短大において，強化指定クラブ（男女テニス）拡充による施設整備の一環として，テニスコート（ハードコート 5 面改修）の整備を行った。

・市邨校において，年次計画で進めてきた校舎等改修工事（1・2・4 号館等）を行った。

・高蔵校において，男子便所の改修工事（洋式・乾式化）を行った。

・設置各校において教室等の施設及び体育施設の外部有料貸出の制度を整備し，施設・設備の利用収入を得る体制となった。

設置校に関する主な事項は次のとおりである。

**大学・短大**

・短大において，下記のとおり授業料の改定を行った。

施設整備費改定（在学生全員に適用）

旧　　新

年額 280,000 円　→　年額 250,000 円

・大学において，日本高等教育評価機構による機関別認証評価を受審したが，教員組織の一部未整備により保留の判定となった。平成 28 年度中に補充の人事計画を立て整備を完了した上で，平成 29 年度に再受審の予定である。

・短大において，近年の学生募集状況やそれに伴う収支の状況を鑑み，平成 29 年度から学生募集

を停止することとし，文部科学省へその募集停止報告を行った。

・学生募集の一環として進められている，スポーツ振興による学生確保について，平成 27 年度に発足した女子サッカー部に 5 名の特待生が，また，平成 28 年度から発足した男女テニス部，女子バスケットボール部については，テニス部が 3 名（男子 2 名，女子 1 名），バスケ部が 13 名入学した。

・佐々木学長の下，「名古屋経済大学・同短期大学部の理念と目標」が大学運営の基本方針として策定され，これに基づき大学・短大教学経営改革の指針として「名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部の中期目標・中期計画」が定められ，第 1 クールの改革が終了した。また，残されている課題を念頭に，引き続き第 2 クールの取組みを進めることとした。また，地域との連携，高大連携及び国際化施策についても，下記のとおり活発に進められた。

（地域連携）

正課の授業である「体験型プロジェクト」として，平成 28 年 2 月 15 日に「学生議会」を実施した。これは，犬山市議会の協力のもと，本学の学生が市のまちづくりや日頃の問題・市政への関心を高める取り組みを議場において討論し，議会模擬体験をすることにより，行政や議会の役割や働きを知るだけでなく，姿勢や社会への関心，理解を深めることを目的としたアクティブ・ラーニングである。

（国際化・国際交流）

留学生支援室が中心となり，地域との連携により様々な取組みが行われている。平成 27 年度には，犬山市の地域活性化・地域住民生活党緊急支援交付金（地域創生先行型）先駆的事業分（タイプ 1）の事業の一部を担った。これは，犬山観光協会からの受託事業として，留学生によるインバウンド観光推進業務として行われた。具体的には，本学の留学生が，自国の文化と自国民の興味対象を的確にとらえた「犬山いいとこ PR ビデオ」を作成し，学内コンテストにより優秀者を選定した。また，このビデオをもとに，ベトナムからテレビ局が取材に訪れ，留学生とその家族を紹介しながら，犬山の魅力（その中に，本学の紹介も含まれた。）を発信する旅情報番組が制作・放映された。

（高大連携）

これまでの市邨校・高蔵校併設２校，愛知県立犬山南高等学校，私立誠心高等学校，私立誉高等学校に加え，平成 28 年 3 月 10 日に，愛知県立犬山高等学校との連携協定を締結した。これにより学生募集の改善に繋がり始めている。

**市邨校**

・高校・中学において，下記のとおり授業料の改定を行った。

授業料等改定（平成 27 年度第 1 年次から年次進行）

| | 旧 | | 新 | |
|---|---|---|---|---|
| 授業料 | 月額 31,000 円 | → | 授業料 | 月額 32,900 円 |
| 維持費 | 月額 5,500 円 | → | 維持費 | 月額 3,600 円 |

・市邨校においては，全校無線 LAN 環境のもと，ICT の活用を進めるとともに，各教科でアクティブラーニングを積極的に取り入れた結果，生徒の学習に臨む姿勢や意欲が目に見えて向上するなどの成果を上げた。キャリア教育にも重点を置き，113 人の生徒がインターンシップに参加した。

また，ニュージーランドへの海外語学研修は，平成 26 年度に引き続き文部科学省留学生派遣支援事業に採用された。防災教育では，県主催の高校生防災セミナーに参加した生徒会役員が，その成果を校内で発表するなどし，防災意識を喚起する取組みが行われた。さらに，PTA と協力して周辺地区での校外清掃，ボランティア部の活動，降雪時の有志生徒による周辺道路の除雪など，社会貢献・地域連携の活動も活発に行われた。

・高等学校・中学校において，更なる収支改善を念頭に，平成 28 年度から授業料等の改定を行うこととし，愛知県へ学則変更届を提出した。

・高等学校において，キャリアデザインコースのカリキュラム改定から 3 年経ち，問題点を洗い出した結果，その内容を一部変更することとし，愛知県へ学則変更届を提出した。

**高蔵校**

・高校・中学において，下記のとおり授業料の改定を行った。

授業料等改定（平成 27 年度第 1 年次から年次進行）

| | 旧 | | 新 | |
|---|---|---|---|---|
| 授業料 | 月額 31,000 円 | → | 授業料 | 月額 32,900 円 |
| 維持費 | 月額 5,500 円 | → | 維持費 | 月額 3,600 円 |

・高蔵校においては，『顔には微笑み，手には本，生活にはケジメ』という標語を掲げ，全校生徒が明るく元気に安心して学修に取組めるよう，校訓三則を常に意識して教育活動を実施した。8 年目となる朝の読書による成果に加え，チャイムシステムの改善により，授業 2 分前に独自音源の合図や校歌を流すことで，授業重視の姿勢や愛校心の涵養が図られ，特進コースの一体化と独自性の推進とも相まって，学力の底上げと進路実績の向上に結び付いた。学事システムによる成績管理も定着し，今後は ICT 教育や国際交流活動への拡張が期待できる。いじめ防止等対策委員会に加えて，安全衛生委員会が発足し，環境の整備や赤十字社と連携した生徒会の献血運動等，地域社会と結びついた諸活動の一層の活性化へとつながった。

・高等学校・中学校において，更なる収支改善を念頭に，平成 28 年度から授業料等の改定を行うこととし，愛知県へ学則変更届を提出した。

**幼稚園**

・授業料の改定を行った。

授業料等改定（在園児全員に適用）

| | 旧 | | 新 |
|---|---|---|---|
| 3 歳児 | 月額 25,000 円 | → | 月額 26,000 円 |
| 4・5 歳児 | 月額 23,000 円 | → | 月額 24,000 円 |

・幼稚園においては，大学との連携をより一層深めた幼児教育を展開してきた。英語教育，サッカー教室，コンピュータ教育を年間予定の中に計画的に位置づけて，子どもたちが無理なく取り組めるように工夫した。また，食育教育では，親子料理教室を開催して，保護者の協力と理解を図った。また，保護者対象の「AED と救命救急講習会」を開催し，保護者からの信頼を深めることができた。

## (2)　設置校の教育研究の概要

### （ア）　設置する学校・学部・学科・専攻等　　（平成28年3月末日現在）

**名古屋経済大学・大学院**

所在地

愛知県犬山市字内久保61番1（本校）

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目25番13号（サテライトキャンパス）

学長

佐々木　雄太

| 学部・学科・課程名 | 開設年度 | 修業年限 | 卒業要件単位 | 取得可能な学位（専攻名） | 入学定員 | 収容定員 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大学院 | | | | | 人 | 人 | |
| 法学研究科 | | | | | | | |
| 法学専攻（修士課程） | 平成12年度 | 2 年 | 30 単位以上 | 修士（法学） | 50 | 100 | |
| 企業法学専攻（博士後期課程） | 平成12年度 | 3 年 | ※ | 博士（法学） | 5 | 15 | 企業法学専攻は，単位制を採っていない。 |
| 会計学研究科 | | | | | | | |
| 会計学専攻（博士前期課程） | 平成14年度 | 2 年 | 30 単位以上 | 修士（会計学） | 50 | 100 | |
| 会計学専攻（博士後期課程） | 平成19年度 | 3 年 | 20 単位以上 | 博士（会計学） | 5 | 15 | |
| 人間生活科学研究科 | | | | | | | |
| 幼児保育学専攻（修士課程） | 平成19年度 | 2 年 | 30 単位以上 | 修士（保育学） | 10 | 20 | |
| 栄養管理学専攻（修士課程） | 平成19年度 | 2 年 | 30 単位以上 | 修士（栄養管理） | 10 | 20 | |
| 学部 | | | | | 人 | 人 | |
| 経済学部 | | | | | | | |
| 現代経済学科 | 昭和54年度 | 4 年 | 130 単位以上 | 学士（経済学） | 150 | 600 | |
| 経営学部 | | | | | | | |
| 経営学科 | 平成14年度 | 4 年 | 130 単位以上 | 学士（経営学） | 150 | 600 | |
| 法学部 | | | | | | | |
| ビジネス法学科 | 平成15年度 | 4 年 | 130 単位以上 | 学士（法学） | 150 | 600 | |
| 人間生活科学部 | | | | | | | |
| 教育保育学科 | 平成17年度 | 4 年 | 124 単位以上 | 学士（教育・保育学） | 100 | 400 | |
| 管理栄養学科 | 平成17年度 | 4 年 | 124 単位以上 | 学士（管理栄養） | 80 | 320 | |

**名古屋経済大学短期大学部**

所在地

愛知県犬山市字内久保61番1（本校）

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目25番13号（サテライトキャンパス）

学長

佐々木　雄太（兼任）

| 学部・学科・課程名 | 開設年度 | 修業年限 | 卒業要件単位 | 取得可能な学位（専攻名） | 入学定員 | 収容定員 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 人 | 人 | |
| 保育科 | 昭和42年度 | 2 年 | 62 単位以上 | 短期大学士（保育学） | 80 | 160 | |

**名古屋経済大学市邨高等学校・中学校**

所在地

愛知県名古屋屋市千種区北千種三丁目1番37号

校長

澁谷　有人（中学兼任）

| 学部・学科・課程名 | 開設年度 | 修業年限 | 卒業要件単位 | 取得可能な学位（専攻名） | 入学定員 | 収容定員 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高等学校 | | | | | 人 | 人 | |
| （全日制課程 商業科） | 昭和23年度 | ― | ― | － | ― | ― | 平成14年4月から募集停止中。 |
| 全日制課程 普通科 | 昭和40年度 | 3 年 | ※ | － | 520 | 1,560 | 特進コースは3年間で102単位，文理コースは3年間で96単位，キャリアデザインコースは3年間で96単位取得 |
| 中学校 | 昭和22年度 | 3 年 | ― | － | 100 | 300 | |

**名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校**

所在地

愛知県名古屋市瑞穂区高田町三丁目28番地の1

校長

鈴木　一男（中学兼任）

| 学部・学科・課程名 | 開設年度 | 修業年限 | 卒業要件単位 | 取得可能な学位（専攻名） | 入学定員 | 収容定員 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高等学校 | | | | | 人 | 人 | |
| 全日制課程 商業科 | 昭和23年度 | 3 年 | 90 単位 | － | 80 | 240 | |
| 全日制課程 普通科 | 昭和40年度 | 3 年 | ※ | － | 520 | 1,560 | 普通科特進コースは3年間で96単位，進学コースは3年間で90単位取得 |
| 中学校 | 昭和22年度 | 3 年 | ― | － | 100 | 300 | |

**名古屋経済大学附属市邨幼稚園**

所在地

愛知県犬山市字内久保14番1

園長

鈴木　文雄

| 学部・学科・課程名 | 開設年度 | 修業年限 | 卒業要件単位 | 取得可能な学位（専攻名） | 入学定員 | 収容定員 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 昭和43年度 | 3 年 | － | － | 69 | 209 | 修業年限は，3才児入園者 |

（イ）法人職員並びに教職員の状況

平成28年3月現在（　）は女子で内数

○ 法人本部（役員・職員数）

| |
|---|
| 6 (0) |

（注1）副学園長1名が短大准教授と併任。

○ 大学院・大学・短大（教員数）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 大学 | 大学院 | | | | 非常勤 | 大学・短大合計 |
| | 法学研究科 | 会計学研究科 | 人間生活科学研究科 | | | |
| | 12 (1) | 10 (0) | 18 (5) | | | |
| | 学部 | | | | | |
| | 経済学部 | 経営学部 | 法学部 | 人間生活科学部 | | |
| | 17 (6) | 18 (4) | 20 (4) | 28 (10) | 55 (24) | |
| 短大 | 保育科 | その他 | | | 非常勤 | |
| | 13 (7) | 1 (1) | | | 9 (6) | 169 (62) |

（注2）法学研究科，会計学研究科及び人間生活科学研究科教員は，学部からの併任教員を含み，大学・短大合計には含めず。（法学研究科8人（うち女子1人），会計学研究科5人（うち女子0人），人間生活科学研究科18人（うち女子5人））

（注3）人間生活科学部教員には，助手5人を含む。

（注4）短大保育科には，短大副学長（大学教授と併任）を含み，大学・短大合計には含めず。

○ 大学・短大（職員）

| 大学 | 短大 | 非常勤 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 59 (28) | 3 (3) | 43 (19) | 105 (50) |

○ 高校・中学（教員）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 市邨校 | | | | | 両校合計 |
| 高校専任 | 高校非常勤 | 中学専任 | 中学非常勤 | 小計 | |
| 62 (23) | 17 (5) | 14 (5) | 3 (2) | 96 (35) | |
| 高蔵校 | | | | | |
| 高校専任 | 高校非常勤 | 中学専任 | 中学非常勤 | 小計 | |
| 75 (25) | 22 (16) | 8 (3) | 2 (1) | 107 (45) | 203 (80) |

○ 高校・中学（職員）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 市邨校 | | | | | 両校合計 |
| 高校専任 | 高校非常勤 | 中学専任 | 中学非常勤 | 小計 | |
| 7 (4) | 8 (2) | 1 (1) | 0 (0) | 16 (7) | |
| 高蔵校 | | | | | |
| 高校専任 | 高校非常勤 | 中学専任 | 中学非常勤 | 小計 | |
| 8 (5) | 6 (2) | 1 (1) | 0 (0) | 15 (8) | 31 (15) |

○ 幼稚園（教職員）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 専任 | 8 (6) | 非常勤 | 8 (7) |

○ 学園教職員数

| | |
|---|---|
| 専任 | 356 |
| 非常勤 | 173 |
| 合計 | 529 |

（ウ） 学生の状況

入学定員及び入学者数並びに収容定員及び在籍者数

大学・短大

| | 研究科・学部・学科名等 | 入学定員 | 平成27年度入学者数 | 収容定員 | 平成27年度在籍者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋経済大学大学院 | 大学院 | | | | |
| | 法学研究科 | | | | |
| | 法学専攻（修士課程） | 50 | 40 | 100 | 84 |
| | 企業法学専攻（博士後期課程） | 5 | 0 | 15 | 7 |
| | 会計学研究科 | | | | |
| | 会計学専攻（博士前期課程） | 50 | 16 | 100 | 46 |
| | 会計学専攻（博士後期課程） | 5 | 3 | 15 | 8 |
| | 人間生活科学研究科 | | | | |
| | 幼児保育学専攻（修士課程） | 10 | 1 | 20 | 6 |
| | 栄養管理学専攻（修士課程） | 10 | 1 | 20 | 1 |
| | 合計 | 130 | 61 | 270 | 152 |
| 名古屋経済大学 | 学部 | | | | |
| | 経済学部 | | | | |
| | 現代経済学科 | 150 | 131 | 600 | 348 |
| | 経営学部 | | | | |
| | 経営学科 | 150 | 154 | 600 | 502 |
| | 法学部 | | | | |
| | ビジネス法学科 | 150 | 85 | 600 | 320 |
| | 人間生活科学部 | | | | |
| | 教育保育学科 | 100 | 58 | 400 | 211 |
| | 管理栄養学科 | 80 | 85 | 320 | 288 |
| | 合計 | 630 | 513 | 2,520 | 1,669 |
| 名古屋経済大学短期大学部 | 保育科 | 80 | 44 | 160 | 113 |
| | 合計 | 80 | 44 | 160 | 113 |

高等学校・中学校

| | 学校名・課程等 | 入学定員 | 平成27年度入学者数 | 収容定員 | 平成27年度在籍者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市邨校 | 名古屋経済大学市邨高等学校 | | | | |
| | 全日制課程 | | | | |
| | 普通科 | 520 | 313 | 1,560 | 985 |
| | （商業科） | － | － | － | － |
| | 小計 | 520 | 313 | 1,560 | 985 |
| | 名古屋経済大学市邨中学校 | 100 | 43 | 300 | 136 |
| | 合計 | 620 | 356 | 1,860 | 1,121 |
| 高蔵校 | 名古屋経済大学高蔵高等学校 | | | | |
| | 全日制課程 | | | | |
| | 普通科 | 520 | 372 | 1,560 | 1,142 |
| | 商業科 | 80 | 65 | 240 | 184 |
| | 小計 | 600 | 437 | 1,800 | 1,326 |
| | 名古屋経済大学高蔵中学校 | 100 | 34 | 300 | 106 |
| | 合計 | 700 | 471 | 2,100 | 1,432 |
| 高等学校合計 | | 1,120 | 750 | 3,360 | 2,311 |
| 中学校合計 | | 200 | 77 | 600 | 242 |

※ 市邨高校商業科はH14.4から生徒募集停止中。

幼稚園

| 園名 | 入学定員 | 平成27年度入学者数 | 収容定員 | 平成27年度在籍者数 |
|---|---|---|---|---|
| 名古屋経済大学附属市邨幼稚園 | 69 | 53 | 209 | 188 |

※ 入学定員は，3歳児の募集定員。

## （エ）学納金の状況

平成28年3月現在

### 大学・短大

| 学校名・研究科・学部・学科名等 | | 入学検定料 | 入学金 | 授業料（年額） | その他の費用（年額） |
|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋経済大学大学院 | 大学院<br>法学研究科<br>会計学研究科<br>人間生活科学研究科 | 35,000 円 | 200,000 円 | 750,000 円 | － |
| 名古屋経済大学 | 学部<br>経済学部<br>経営学部<br>法学部<br>人間生活科学部<br>教育保育学科 | 30,000 円 | 200,000 円 | 600,000 円 | 400,000 円 |
| | 管理栄養学科 | 30,000 円 | 200,000 円 | 640,000 円 | 440,000 円 |
| 名古屋経済大学大学部短期大学 | 保育科 | 30,000 円 | 200,000 円 | 600,000 円 | 400,000 円 |

主な奨学金等の制度

学業優秀者奨学金，学術・文化及びスポーツ等優秀者奨学金，資格取得試験合格者報奨金，検定試験受験奨励金，外国人留学生奨学金等

### 高等学校・中学校

| 学校名・課程等 | | 入学検定料 | 入学金 | 授業料（年額） | その他の費用（年額） |
|---|---|---|---|---|---|
| 市邨校 | 名古屋経済大学市邨高等学校<br>全日制課程<br>普通科 | 13,000 円 | 200,000 円 | 394,800 円 | 43,200 円 |
| | 名古屋経済大学市邨中学校 | 13,000 円 | 200,000 円 | 394,800 円 | 43,200 円 |
| 高蔵校 | 名古屋経済大学高蔵高等学校<br>全日制課程<br>普通科<br>商業科 | 13,000 円 | 200,000 円 | 394,800 円 | 43,200 円 |
| | 名古屋経済大学高蔵中学校 | 13,000 円 | 200,000 円 | 394,800 円 | 43,200 円 |

主な奨学金等の制度

市邨賞奨学金，入学奨学生，学力奨学生，部活動奨学生

### 幼稚園

| 名古屋経済大学附属市邨幼稚園 | | 入学検定料 | 入園料 | 授業料（年額） | その他の費用（年額） |
|---|---|---|---|---|---|
| | 3歳児 | 3,000 円 | 30,000 円 | 312,000 円 | － |
| | 4歳児，5歳児 | | | 288,000 円 | |

主な奨学金等の制度

特になし。

（オ）　教育施設の状況

平成28年3月末日現在

| | | |
|---|---|---|
| 名古屋経済大学・大学院<br>名古屋経済大学短期大学部<br>（愛知県犬山市） | 校地面積 | 207,201.95 ㎡ |
| | 校舎面積 | 60,740.73 ㎡ |
| 名古屋経済大学・大学院<br>名古屋経済大学短期大学部<br>名駅サテライトキャンパス<br>（名古屋市中村区） | 校地面積 | 336.60 ㎡ |
| | 校舎面積 | 2,726.94 ㎡ |

| | | |
|---|---|---|
| 名古屋経済大学市邨高等学校<br>名古屋経済大学市邨中学校<br>（名古屋市千種区） | 校地面積 | 42,222.66 ㎡ |
| | 校舎面積 | 21,612.30 ㎡ |

| | | |
|---|---|---|
| 名古屋経済大学高蔵高等学校<br>名古屋経済大学高蔵中学校<br>法人本部<br>（名古屋市瑞穂区） | 校地面積 | 28,063.00 ㎡ |
| | 校舎面積 | 20,849.59 ㎡ |

| | | |
|---|---|---|
| 名古屋経済大学附属市邨幼稚園<br>（愛知県犬山市） | 校地面積 | 4,229.68 ㎡ |
| | 校舎面積 | 1,203.11 ㎡ |

| | | |
|---|---|---|
| 開田高原研修センター<br>（長野県木曽郡木曽町） | 敷地面積（借用） | 0.00 ㎡ |
| | 建物面積 | 1,330.13 ㎡ |

| | | |
|---|---|---|
| 海外セミナーハウス<br>（カナダ・バンクーバー市） | 敷地面積 | 1,281.90 ㎡ |
| | 建物面積 | 290.11 ㎡ |